

人生フルーツ

Life is Fruity

@東海テレビ

報告

人生は、だんだん美しくなる

～Story～

家は、暮らしの宝石箱でなければならない。

長年連れ添った夫婦の暮らしは、細やかな気遣いと工夫に満ちていました。四季折々の楽しみと、建築家の修一さんが建てた素敵な家、英子さんが作るおいしい料理。二人でコツコツ、丁寧にときを貯めてきた、津端さんご夫婦のドキュメンタリー映画。



【トークテーマ】

「十人十色の生き方～ドキュメンタリー制作を通して出会った人たち～」

【トークゲスト】

「人生フルーツ」プロデューサー 阿武野 勝彦 さん

【トーク】

トークは、感染症拡大防止の観点から、コムズと名古屋にある東海テレビの試写室をつなぎ、リモートで行いました。

「人生フルーツ」は東海テレビが作成した13本のドキュメンタリー作品の中の10本目です。地方のテレビ局の放送では見てくれる人が限定されてしまうことと、不特定多数の人と同じ画面を見て色々な反応を共有してもらいたいという願いから2017年に映画化されました。

2014年に取材を開始した当初、修一さんは「自分に残された時間は残り少ないためテレビの人に使う時間は無い」といって取材を辞退したがっていたそうです。しかし、同じ頃に父親を亡くし、自分の父の生前の姿をなぞるように津端さん取材したいという思いがあった監督が何度も通い次第に心を開いてくれたといいます。

人生フルーツは戦後70年の節目の年である2015年に放送する予定のドキュメンタリー作品でしたが、取材が長引き2年目に修一さんが亡くなりました。亡くなられてからふと思い返してみると修一さんは取材の過程でディレクターと1対1で言葉を交わすインタビューを撮らせてくれなかったそうです。そのため、修一さんの人生については修一さんの周りにいた人たちから聞き取ることとなりました。それは、修一さんの「見ていればわかるよ」という言葉が要因でしたが、逆に本人ではなく他人から修一さんの生き様を教えてもらった方が、修一さんの人生をより深みのあるものとして描くことができると阿武野さんは感じたそうです。

人生フルーツの中では、「時をためる」という言葉がたびたび登場します。阿武野さんは、「時をためる」とは編んだばかりのマフラーの毛羽立ちが使用するにつれて無くなっていくことであり、津端さんの家の庭で育つ野菜や果物が時間をかけて熟れていくことであると解釈されました。

阿武野さんは以前、絨毯屋の方の取材をした際「絨毯は飾らず踏むことでさらに美しくなる」という経年美化の考え方を知ったそうですが、津端さんご夫婦のように物を大切に、育てていくという風に人生観を変えなければ消費中心の生活から抜け出せなくなると危機感を抱いたと言って映画に関するトークを締めくくられました。

【当日の様子】



【アンケート感想】

落ち着いた音楽とともに落ち着いたご夫婦の歩みに癒されました。最後の仕事、伊万里の病院の設計の仕事素敵でした。ゆっくり、こつこつとした生活を私もおくりたいです。（40代女性）

こうなれたらいいなと思う場面がたくさんありました。自分の生活にも取り入れていきたいです。（50代女性）

日常の一幕をつなげていくことでドラマの訴えたかったことが自然に表現できているのがよかった（60代男性）

夫とこれからの日々を語り合うよいきっかけとなりました。いくつになっても豊かに生きられるのですね。（60代女性）

時間があっという間でした。時は流れるといいますが「ためる」「重ねる」ということを知りました。（60代女性）

今までの自分の生き方の反省が必要なのではないかと思うほどとても考えさせられました。今日からもっと丁寧な毎日を送ります。（70代以上女性）

ゆったり生活されている様子を見せてもらって幸せな気分になりました。「人生フルーツ」という題もぴったりでした。「こつこつゆっくり」と残りの人生を過ごしたいです。お二人の仲の良さにはびっくりです。夫を立てて妻は従っているけれどお互いやりたいことができている羨ましく思いました。（70代以上女性）

淡々と日常が描かれ樹木希林さんのナレーションがとても素敵でした。高齢のお二人がさりげなく支えあって生きている姿、相手に対する愛情が感じられ深く感動しました。一人になってなお相手を思いやり共に生きていく姿、自然に対する理解の深さと感謝、次世代へまで思いをはせる心の豊かさは見習いたいものでした。（50代女性）

家のこと（障子はり）、食事作り、畑仕事などご夫婦で自然な生き方を楽しんでいる様子を拝見し、見習いたいところがたくさんあります。コツコツとやっています。（60代女性）

ゆったりとした時間を津端さんご夫婦とともに過ごしているようでした。私たちも仲良く気負わずに余生を楽しみたいと思いました。（70代以上女性）

「風が吹けば枯葉が落ちる。枯葉が落ちれば土が肥える。土が肥えれば果実が実る。」というナレーションもよく、自然と一体になっていて感激しました。津端さんご夫婦の輝いた人柄が伝わってきて心豊かに和やかに癒されました。最高でした。（70代以上女性）

「時をためる」とはとても素敵な言葉だと思います。樹木希林さんのファンなので希林さんのお話もとてもよかったです。英子さんも天に召されたと同じショックです。ものを大切に作る姿に学ぶことができたくさん感謝です。（70代以上女性）

